



日本シティズンシップ教育フォーラム
2016 年度 事業報告書 (案)

(2016.01.01～2016.12.31)

住所：兵庫県尼崎市次屋 2 丁目 2-20 ハイツアメニティ II-203 号室
電話番号：070-6506-0369 mail：info@jcef.jp web：http://jcef.jp

目次

1. 2016 年度事業のハイライト	2
2. 2016 年度事業実施体制	2
3. 事業報告	
(1) ネットワーキングの場の創出	3
(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作	9
(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造	11
4. 会計報告	別添資料参照

設立趣意書

人々の価値観が多様化した現代社会においては、市民が熟議を重ねながら、一人ひとりの問題意識に立脚した「望ましい未来像」に向けて、地域や社会の変革と創造の過程に参画していくことが重要です。市民参加の領域が今後一層広がっていく中、このような社会デザインの担い手を育てるシティズンシップ教育の社会的関心も高まってきています。既に日本各地では、幅広い世代に対して多様な形態によるシティズンシップ教育の実践と研究、政策形成が展開されていっています。こうした様々な場での取り組みが交流を通じて、現場に根ざした実践知を生成し、社会全体で幅広く活用されていくことが必要となっています。この現状を踏まえて、日本シティズンシップ教育フォーラムは、シティズンシップ教育に関係する人々がネットワーキングを進め、現場の関係者を応援しながら、実践を推進しやすい環境づくりを展開し、シティズンシップ教育の進展を図っていきます。更に、以上の活動を通じて、日本社会が能動的な市民の参加を地域や社会を創造するエネルギーに変えていく民主主義の成熟化に寄与していきます

1. 2016 年度事業のハイライト

- (1) 「いま、改めて『民主主義』を学ぶとは？」を全体テーマに「第3回シティズンシップ教育ミーティング」を開催。日本全国から138名の方々が参加。
- (2) 「J-CEF スタディ・スタジオ」、KOBE スタジオに加えて KYOTO スタジオも定期開催へ。
- (3) シティズンシップ教育推進人材育成プログラムの内容が定まり、開催準備が整う。
- (4) 機関誌「J-CEF NEWS」9号から11号を発行。

2. 2016 年度事業実施体制

J-CEF では、総会に付議すべき事項や総会の議決した事項の執行に関する事項等について決議する機関として運営委員会を設置しています。事業の推進にあたっては、総会での議決に基づいて2つの部会を設置しました。各事業部に事務局スタッフを配置し、事業執行にあたっています。

■役員

【運営委員】

- | | |
|-----|----------------------------|
| 代表 | 小玉重夫（東京大学大学院教育学研究科教授） |
| 副代表 | 水山光春（京都教育大学教育学部教授） |
| 委員 | 市川享子（明治学院大学ボランティアコーディネーター） |

岡田泰孝（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
 唐木清志（筑波大学人間系准教授）
 川中大輔（シチズンシップ共育企画代表）
 木村 充（東京大学大学総合教育センター特任研究員）
 黒崎洋介（神奈川県立湘南台高等学校教諭）
 杉浦真理（立命館宇治中学・高等学校教諭）
 竹之下惟基（ダイバーシティズン代表）
 中村陽一（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）
 原田謙介（NPO法人YouthCreate代表）
 林 大介（東洋大学社会学部助教、模擬選挙推進ネットワーク事務局長）
 古田雄一（大阪国際大学短期大学部専任講師）

【監事】

齊藤仁一朗（東海大学課程資格教育センター助教）
 長沼 豊（学習院大学文学部教育学科教授）

■事務局

事務局長/会計責任者 川中大輔
 事務局スタッフ 赤石誠一郎、古田雄一、安井悠一郎（五十音順）

■運営委員会開催記録

	日程	場所	議題
第10回	2016年2月10日 19:15～21:00	東京大学/京都教育大学	2015年度決算および事業報告、2016年度予算および事業計画について
第11回	2016年4月10日 15:10～16:50	東京大学/京都教育大学	代表・副代表の選任、事務局長の任命、事業計画推進にあたっての専門部会の設置及び部会員の決定について
第12回	2016年12月26日 13:10～15:00	東京大学/京都教育大学	各部会の進捗報告及び意見交換、教科書政策ワーキング設置にかかる検討、通常総会招集について

※いずれの会議も西日本会場・東日本会場をオンラインでつないで実施しました。

3. 事業報告

(1) ネットワーキングの場の創出

■「第3回シティズンシップ教育ミーティング」を開催

J-CEFでは、シティズンシップ教育に携わる様々な方々の交流や意見交換、また広くシティズンシップ教育に関心のある方々との結びつきの機会を作ることを目的として、以下の通り「第3回シティズンシップ教育ミーティング」を開催しました。

【開催概要】

- 日時：2016年3月19日(土)13時～3月20日(日)17時
- 場所：立教大学池袋キャンパス 太刀川記念館・12号館
- 来場者数：138名(参加者109名、ゲスト24名、ボランティア5名)
- 共催：立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・社会デザイン研究所
- 後援：NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)
- プログラムおよびゲスト・コーディネーター(所属は当時)

▼全体会(1)「いま、改めて『民主主義』を学ぶとは？」

- ・キーノートスピーチ

広田照幸さん(日本大学文理学部教授)

中村陽一さん(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授)

▼全体会(2)「学校で政治を教えるとは？」

- ・ゲスト

合田哲雄さん(文部科学省初等中等教育局教育課程課長)

小玉重夫さん(東京大学大学院教育学研究科教授)

林 大介さん(東洋大学社会学部助教)

模擬選挙推進ネットワーク事務局長)

- ・コーディネーター

村上千里さん(NPO法人ESD-J事務局長)

川中大輔さん(シチズンシップ共育企画代表)



▲「シチズンシップ教育ミーティング」

▼自由発表・授業体験会セッション

〈研究発表〉

- ・斉藤仁一朗さん(東北大学大学院教育学研究科)

「多様な生徒に対応するシチズンシップ教育カリキュラムの成立過程」

- ・鍛冶直紀さん(大阪大学大学院人間科学研究科)

「実践報告：意見形成力の育成をめざした『現代社会』の授業」

- ・西野偉彦さん(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科)

「高校生の政治的リテラシーの習得可能性」

- ・コーディネーター

水山光春さん(京都教育大学教育学部教授)

富士原紀絵さん(お茶の水女子大学文教育学部准教授)

〈実践発表〉

- ・木崎勇樹さん、多鹿海翔さん、畠中健斗さん、伊藤梨音さん、廣川津喜子さん(兵庫県立兵庫高等学校未来創造コース)、窪田 勉さん(兵庫県立兵庫高等学校教諭)

「民主主義の変化-おまかせから助け合いへ」

- ・遠藤未来さん(東京大学教育学部附属中等教育学校)

「高校生の政治参加-選挙権を持たない高校生が行動し働きかけるには」

- ・伊東由一郎さん、土屋美優子さん、中村溜南さん（東京大学教育学部附属中等教育学校）、橋本 渉さん（東京大学教育学部附属中等教育学校教諭）

東大附属学校卒業研究 (1)「より民主的な生徒会制度」、(2)「世界と附属の歴史から考える最良の議決方法、(3)「絵本の世界に見るジェンダー」

- ・鹿田光一さん（東海大学熊本教養教育センター准教授）

「LTD 学習法を参考にしたシティズンシップ科目実践」

- ・風巻 浩さん（神奈川県立麻生高等学校教諭，聖心女子大学）

「マニフェスト・リクエストの授業を始めよう」

- ・本間莉恵さん（みらいず works 事務局長）

「『地域課題解決型職場体験』の提案」

- ・コーディネーター

小玉重夫さん（東京大学大学院教育学研究科教授）

中村陽一さん（立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授）

〈授業体験会〉

- ・西野偉彦さん（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科）

「主権者教育プログラム『社会的意思決定学習』」

- ・藤田美保さん（NPO 法人箕面こどもの森学園校長）

「『脱！多数決のミーティング』-箕面こどもの森学園の全校集会を体験しよう！」

- ・栗本知子さん（あおぞら財団研究員）

「もしあなたの住む街で公害が起きたら・・・？」

- ・加藤千晃さん（ライフ・リテラシー代表）

「社会保障教育教材『入門！ライフ・リテラシーゲーム』」

- ・コーディネーター

岡田泰孝さん（お茶のみ女子大学附属小学校教諭）

杉浦真理さん（立命館宇治中学校・高等学校教諭）

林 大介さん（東洋大学社会学部助教、模擬選挙推進ネットワーク事務局長）

村上千里さん（NPO 法人持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J) 事務局長）

▼分科会

〈第一セッション〉「学校で政治を教えるとは？」

- ・ゲスト：黒崎洋介さん（神奈川県立湘南台高等学校教諭）

池本恭代さん（八王子市立上柚木中学校教諭）

- ・コーディネーター：林 大介さん（東洋大学社会学部助教、模擬選挙推進ネットワーク事務局長）

〈第二セッション〉「地域を耕す人材をどう育てるか？」

- ・ゲスト：山内幸治さん（NPO 法人 ETIC.理事・事業統括ディレクター）

広瀬カズ子さん（ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし理事長）

牧野 篤さん（東京大学大学院教育学研究科教授）

・コーディネーター：中村陽一さん（立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授）
 〈第三セッション〉「若者はなぜ動いたのか？動いてどう変わったのか？」

- ・ゲスト：緑川航平さん（藤嶺学園藤沢高等学校 2 年）
 大野 発さん（藤嶺学園藤沢高等学校 2 年）
 加藤志歩さん（国際基督教大学(ICU)教養学部 1 年）
 小野寺翔さん（神奈川大学外国語学部国際文化交流学科 1 年）

・コーディネーター：古田雄一さん（筑波大学大学院博士後期課程）
 〈第四セッション〉「シティズンシップ教育『だからこそ』測るべきものとは？」

- ・ゲスト：市川享子さん（明治学院大学ボランティアセンターコーディネーター）
 岡田泰孝さん（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
- ・コーディネーター：木村 充さん（東京大学大学総合教育研究センター特任研究員）

〈第五セッション〉「グローバル・シティズンシップ教育の実践から学ぶ」

- ・ゲスト：藤原孝章さん（同志社女子大学現代社会学部教授）
 硯合宗隆さん（玉川学園中学・高等部教諭）
 松倉紗野香さん（上尾市立上尾東中学校教諭）
- ・コーディネーター：中村絵乃さん（NPO 法人開発教育協会 (DEAR) 事務局長）

▼クロージング

■J-CEF スタディ・スタヂオの開催

〈KOBE スタヂオ〉

- ・ vol.7 「どのようにして、アクティブラーニングへいざなうか？」（参加者 9 名）
 話題提供者：川中大輔さん（シチズンシップ共育企画代表）
- ・ vol.8 「高校生の政治参加(学習)プログラムをどうつくるか？」（参加者 12 名）
 話題提供者：藤澤文徳さん（兵庫県立大学環境人間学部）
- ・ vol.9 「社会をつくるワクワクを政治から」（参加者 13 名）
 話題提供者：竹之下惟基さん（ダイバーシティズン代表）
- ・ vol.10 「赤ペンを持って、主権者教育の副教材を読もう！」（参加者 14 名）
- ・ vol.11 「続・赤ペンを持って、主権者教育の副教材を読もう！」（参加者 9 名）
- ・ vol.12 「多文化共生と主権者教育」（参加者 11 名）
 話題提供者：野崎志帆さん（甲南女子大学多文化コミュニケーション学科教授）
- ・ vol.13 「労働者から市民へ」（参加者 13 名）
 話題提供者：片田孫朝日さん（灘中学校・高等学校教諭）
- ・ vol.14 「選挙を終えて考える、主権者教育の成果と課題とは？」（参加者 6 名）
- ・ vol.15 「フランスのシティズンシップ教育」（参加者 10 名）
 話題提供者：大津尚志さん（武庫川女子大学短期大学部講師）
- ・ vol.16 「お茶から始まる多文化コミュニケーション」（参加者 6 名）
 話題提供者：宮田健一さん（茶藝館 甜）

- ・ vol.17 「アメリカ大統領選をアメリカの学校はどう扱ったか」(参加者 10 名)

話題提供者：東大地さん (NPO 法人 Mielka)

(2015 年 7 月より原則毎月第一水曜日 19 時～21 時、
市民活動センター神戸等にて開催)

〈KYOTO スタジオ〉

- ・ vol.1 「キックオフミーティング」(参加者 12 名)

- ・ vol.2 「エンカルってなんだろう？

～消費者教育を体験する～」(参加者 6 名)

話題提供者：雪美保子さん (京都府消費者生活安全センター相談員)

- ・ vol.3 「大学生との共同主権者教育の授業実施例とその可能性」

話題提供者：柳川ゆいさん・東大地さん (Mielka)

- ・ vol.4 「『小さくされたもの』の側に立つ市民への学び」(参加者 3 名)

話題提供者：川中大輔さん (シチズンシップ共育企画代表)

- ・ vol.5 「立命館宇治高校でのシティズンシップ教育」(参加者 15 名)

話題提供者：杉浦真理さん (立命館宇治中学・高校教諭)

- ・ vol.6 「新しい主権者教育の授業プランを検討する」

話題提供者：主権者教育研究会のみなさん (京都大学公共政策大学院)

- ・ vol.7 「アメリカ大統領選をアメリカの学校はどう扱ったか」(参加者 10 名)

話題提供者：東大地さん(NPO 法人 Mielka)

(2016 年 6 月より原則毎月第二金曜日 19 時～21 時、キャンパスプラザ京都等にて開催)

〈TOKYO スタジオ〉

- ・ vol.2 「高校での地域参加学習、何を大切にすべきか？」(参加者9名)

話題提供者：古田雄一さん (筑波大学大学院博士後期課程)

- ・ vol.3 「若者と政治をつなぐための様々な視点」

話題提供者：原田謙介さん (NPO法人YouthCreate代表)

(2015 年 12 月より不定期開催)



▲ 「J-CEF スタディ・スタジオ」(KYOTO)

■J-CEF クロストーク vol.6 「執筆メンバーにきく！主権者教育の副教材をどう活用するか？」を開催

【開催概要】

- 日時：2016 年 1 月 23 日 (土) 11 時～17 時
- 場所：京都市 中京青少年活動センター 中会議室
- テーマ：論争的学習と哲学的対話
- 内容：セッション 1 「主権者教育や副教材活用の悩みどころは？」
セッション 2 「執筆者が答える！副教材の使い方は？」
セッション 3 「どのように現場で実践するか？」

- ゲスト：黒崎洋介さん（神奈川県立湘南台高等学校教諭）
原田謙介さん（NPO 法人 YouthCreate 代表）
林 大介さん（東洋大学助教、模擬選挙推進ネットワーク事務局長）
佐藤 功さん（大阪府立旭高等学校教諭）
- 参加者数：18 名
- 共催：公益財団法人京都市ユースサービス協会

■「第 21 回価値判断力・意思決定力を育成する社会科授業研究会」を共催（J-CEF クロストーク事業の一環として）

【開催概要】

- 日時：2016 年 7 月 30 日（土）10 時～ 17 時
- 場所：お茶の水女子大学附属小学校
- テーマ：論争的学習と哲学的対話
- 内容：第一部「論争的学習を通して『政治的リテラシー』を涵養する」
 - ・提案 1 「政治的リテラシー」の涵養と学習活動
岩坂尚史さん（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
 - ・提案 2 「政治的リテラシー」の涵養と評価
岡田泰孝さん（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
 - ・提案 3 「政治的リテラシー」と「争点」
佐藤孔美さん（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
 - ・コーディネーター：梅澤真一さん（筑波大学附属小学校教諭）
- 第二部「哲学的対話について考える」
 - ・報告「お茶の水女子大学附属小学校『てつがく』科の実践」
久下谷明さん（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
 - ・司会：岡田泰孝さん（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
- 対談「哲学的対話と人間性・道徳性の育成」
 - ・講師：貝塚茂樹さん（武蔵野大学教育学部教授）
小玉重夫さん（東京大学大学院教育学研究科教授）
 - ・コーディネーター：岡田泰孝さん（お茶の水女子大学附属小学校教諭）
- 参加者数：58 名
- 主催：価値判断力・意思決定力を育成する社会科授業研究会

ネットワーク部会会議開催

座長 中村陽一

委員 市川享子、唐木清志、川中大輔、林大介、藤枝聡、古田雄一、水山光春（五十音順）

日程	場所	議題
第 1 回	2016 年 5 月 7 日	立教大学
		「第 3 回シティズンシップ教育ミーティング」の評価、「第

	13:00～15:00		4 回シティズンシップ教育ミーティング」のプログラム構成およびコンセプトの検討
第2回	2016年6月5日 13:30～15:30 16:30～18:00 6月6日 10:00～12:00	立教大学 上野駅 フミコム	「第4回シティズンシップ教育ミーティング」のプログラム構成および全体会テーマの検討
第3回	2016年8月15日 14:00～16:00	立教大学	「第4回シティズンシップ教育ミーティング」のプログラム構成および全体会テーマ・ゲストの決定、分科会テーマの検討
第4回	2016年9月22日 10:00～12:15	立教大学 大阪国際大学	「第4回シティズンシップ教育ミーティング」の分科会テーマの決定
第5回	2016年10月24日 19:00～21:00	立教大学 京都教育大学	「第4回シティズンシップ教育ミーティング」の全体会・分科会等の詳細の検討
第6回	2016年11月15日 19:00～21:00	立教大学等	「第4回シティズンシップ教育ミーティング」の全体会・分科会等の詳細の検討

(2) 現場の関係者を応援するメディアの制作

■ 「J-CEF NEWS」 vol.9-vol.11 を発行

シティズンシップ教育の好事例を発掘・紹介し、シティズンシップ教育を深く掘り下げる記事を中心とする会報誌「J-CEF NEWS」を発行しました。また、J-CEF 会員に向けては無料配布を行いました。

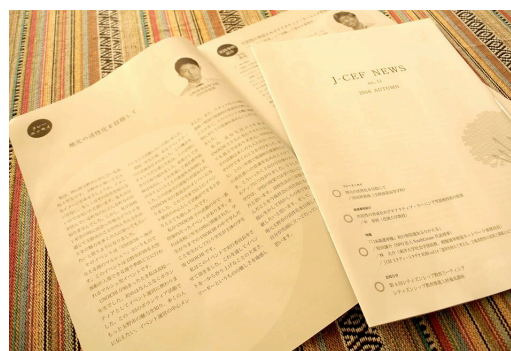
【第9号・概要】

○判型・ページ数：A4版 16 ページ

○発行部数：300 部

○掲載記事

- ・リレーエッセイ 市民になることから始める
／東大地さん（学生団体 ivote 関西）
- ・実践事例紹介 「静岡市人材養成塾の取り組み」
／松下光恵さん（NPO 法人男女共同参画フォーラム
しずおか代表理事）
：編集長の目／水山光春さん（京都教育大学教授）
- ・書評／佐藤正則さん（めいと日本語学院）
『相互文化的能力を育む外国語教育』マイケル・バイラム 著
『「ことばの市民」になる』細川英雄 著
- ・特集「シティズンシップ教育を進める上で何を大切にすべきか？」



▲機関誌「J-CEF NEWS」

／山根和代さん（立命館大学国際関係学部准教授）

／野崎志帆さん（甲南女子大学文学部准教授）

【第 10 号・概要】

○判型・ページ数：A4 版 12 ページ

○発行部数：300 部

○掲載記事

- ・リレーエッセイ 教育者こそ現場に足を運んでほしい！
／東末真紀さん（神戸大学学生ボランティア支援室）
- ・実践事例紹介「社会と自分をつなぐ授業-中学校における『グローバルシティズンシップ科』の取り組みから」
／松倉紗野香さん（埼玉県上尾市立東中学校教諭）
：編集長の目／水山光春さん（京都教育大学教授）
- ・書評／山口洋典さん（立命館大学共通教育推進機構准教授）
『質問』田中未知 著
『たった一つを変えるだけ』ダン・ロスティン、ルース・サンタナ 著
- ・特集「シティズンシップ教育を進める上で何を大切にすべきか？」
／川口英一さん（前神奈川県立湘南台高等学校校長，学校法人鶴嶺学園理事）

【第 11 号・概要】

○判型・ページ数：A4 版 12 ページ

○発行部数：300 部

○掲載記事

- ・リレーエッセイ 地元の活性化を目指して
／岩田祥喜郎さん（玉野商業高校 3 年）
- ・実践事例紹介「市民生の育成をめざすアクティブ・ラーニング型道徳授業の提案」
／中 義則さん（花園大学教授）
：編集長の目／水山光春さん（京都教育大学教授）
- ・特集「『18 歳選挙権』初の参院選をふりかえる」
／原田謙介さん（NPO 法人 YouthCreate 代表）
／林大介さん（東洋大学社会学部助教，模擬選挙推進ネットワーク事務局長）
／J-CEF スタディ・スタヂオ KOBE vol.14 「選挙戦を終えて考える、主権者教育の成果と課題とは？」で交わされた意見

■Web サイトを更新継続

本フォーラムの社会発信及び情報公開のためにウェブサイト、Facebook ページ（催事案内・開催報告）を更新継続しています。会員同士のネットワーキングやノウハウ共有のプラットフォームとして活用できるよう、会員のみがログインできる「会員専用ページ」も公開しています。

○URL：http://jcef.jp

(3) 実践を広範に推進する社会環境の創造**■「シティズンシップ教育推進人材育成プログラム」の企画**

シティズンシップ教育を実践面から推進する人々の学習と成長の機会として、シティズンシップ教育推進人材育成プログラムの企画検討を進め、その対象と目標、プログラムを決定し、その開催準備にあたった。2017年度には「シティズンシップ教育推進人材養成講座」と題して、東日本及び西日本の二地域において試行しながら、そのブラッシュアップを図っていくこととなる。

■高校生等を対象とする表彰制度の創設検討

第4回シティズンシップ教育ミーティングにおいて「高校生・大学生発表セッション」を新設し、発表証明書を発行することを決定した。この取組の充実等を通じて、シティズンシップ教育や社会参加の実践や探究に取り組む高校生・大学生等の若者を表彰する制度の創設に向けて具体化を進めていくこととする。

■研究者と実践者の協働コーディネート支援

会員からの相談を常時受付しており、今年度は事務局にて1件の相談に対応した。

■「シティズンシップ教育プログラム評価研究会」の設置

学修到達度の評価方法の一つであるルーブリック評価に着目し、シティズンシップ教育プログラムでの導入を支援するハンドブックの制作を目指して検討を進めている(研究会設置期間:2015年～2017年)。

交流育成部会会議開催

座長 原田謙介

委員 川中大輔、木村充、竹之下惟基(五十音順)

	日程	場所	議題
第1回	2016年5月6日 17:30～20:00	東京大学	シティズンシップ教育人材育成プログラムのターゲットと目標の検討
第2回	2016年6月5日 09:30～12:00	東京大学	シティズンシップ教育人材育成プログラムのプログラム構成と講師の検討
第3回	2016年7月15日 14:00～16:00	オンライン	シティズンシップ教育人材育成プログラムのプログラム構成と講師の検討

※本部会は上記に加えて、電子メールによる意見交換を通じて、その会議の一部に代えた。

4. 会計報告

別添資料参照

以上